

### 令和7年度学校経営計画表

#### 1 学校の現況

学校番号	特 23		学校名	県立境特別支援学校										学校長名	塩畑 道代			
副校長名	舘 淳一朗					教頭名	吉澤 真純		野口 久人		事務（室）長名		大藏 夏志					
教職員数	教諭	105	養護教諭	2	栄養教諭	1	常勤講師	25	非常勤講師	3	実習助手	2	事務職員	3	技術職員等	13	計	159
幼児・児童・生徒数	部	1年		2年		3年		4年		5年		6年		合計		合計 クラス数		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
	小学部	13	9	25	7	20	11	13	10	20	8	16	10	107	55	37		
	中学部	21	7	18	8	17	10							56	25	17		
	高等部	18	12	24	15	27	4							69	31	17		
															小計	232	111	71
														合計	343			

#### 2 目指す学校像

- ◆一人一人が自ら行い自ら学び、できる喜びを感じることができる学校 「かがやく学校」
- ◆学んだことを周りの人に伝え合い、分かち合うことができる学校 「ひびきあう学校」
- ◆学校と地域が助け合い、認め合い、多くの人と繋がり合える学校 「つながる学校」

### 3 現状分析と課題（数量的な分析を含む）

項 目	現 状 分 析	課 題
学校経営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的な環境整備及び防災学習、訓練を実施している。</li> <li>・児童生徒の食の安全や職員の健康に関する研修を実施し、安全に日々の指導を行っている。</li> <li>・定期的に研修を実施するなど、教職員全体のコンプライアンス意識の向上に努めている。</li> <li>・特別支援教育体制の充実にむけて、特別支援教育地域連携体制構築事業や学校公開等を通して地域の学校等と連携を続けている。</li> <li>・Google Workspace を活用し、効果的な情報伝達や研修、会議を実施している。</li> <li>・コミュニティ・スクールへの移行を計画的に実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や地域の方々と連携した安全管理体制の充実。</li> <li>・事故防止のため、ヒヤリハット事例の集約と共有の増加。</li> <li>・就学前機関への支援・広報活動の更なる充実。</li> <li>・学校運営協議会と連携し、地域との連携の更なる充実。</li> </ul>
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育成を目指す資質能力の般化にむけ、学校全体で計画的に授業改善を実施している。</li> <li>・各部の教育課程を改善し、評価しながら実践している。</li> <li>・ICT の効果的な活用を推進し、授業改善研修等での好事例の収集と職員間の共有を実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材データベースの活用など授業準備の効率化への工夫。</li> <li>・教科横断的、長期的な展望での指導の実践。</li> <li>・保護者への十分な説明も含め、高等部生徒の BYOD 端末の整備の増進。</li> </ul>

### 4 中期的目標

<ol style="list-style-type: none"> <li>1 児童生徒が安全に安心して活動でき、また保護者が安心して託せる学校であるために、施設・設備や学習環境の点検整備や緊急時や災害時の支援体制や危機管理体制の構築を進める。</li> <li>2 児童生徒の自己実現に向けた教育を推進し、自立と社会参加を目指す力を醸成するために、ICT 機器や体験型学習・実習等を活用した児童生徒の個々の課題やニーズに応じた指導・支援を進める。</li> <li>3 「信頼され続ける学校」であるために、教職員の専門性向上や危機管理への対応に係る研修を進めるとともに、教員コンプライアンスを実現するための取り組みを実践する。</li> <li>4 児童生徒の豊かな成長を支えていく「地域と共にある学校づくり」を進めるために、積極的に小中学校や地域との連携を強化し、情報発信を心がける。</li> </ol>
--

## 5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
I 安全安心な学校作りの推進	① 児童生徒の心身の健康を守る保健安全、食育指導の実践 ② 施設・設備の点検改修による安全安心な環境作り ③ 感染症対策による持続可能な学習環境作り ④ P T A や地域と連携した大災害時の防災体制の確立
II ニーズに応じた指導の充実	① 様々な ICT 機器を活用としたアクティブラーニングの実践 ② 自立と社会参加に向けた児童生徒の個別に応じた指導実践 ③ 発達段階に応じた教育課程による小中高一貫性のある実践 ④ 体験型学習やデュアルシステム型実習の積極的活用
III 教員の意識向上のための研修の充実	① 個人研修の充実を図り、特別支援教育の専門性を高める支援 ② I C T 環境の充実、教材データ化による働き方改革の推進と指導の充実 ③ 児童生徒同士の健康や安全を守る ④ 教員のコンプライアンス意識を高める
IV 地域の連携とセンター的機能推進	① 地域・小中高との交流及び共同学習の推進を深め、コミュニティスクールの浸透 ② 地域のセンター的機能としての支援の充実 ③ 外部団体や地域資源を活かした P T A 活動の充実 ④ 学校教育活動の公開や HP を利用した情報発信